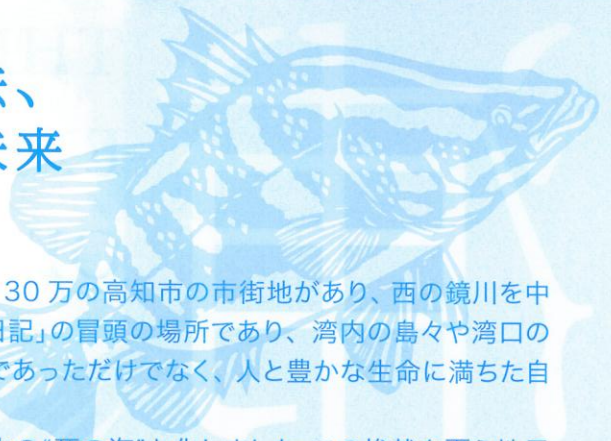


浦戸湾展

浦戸湾の過去、
現在そして未来



事業の内容

浦戸湾から北を見上げると高い四国山地の緑が並び、そのふもとに人口30万の高知市の市街地があり、西の鏡川を中心に7河川が入り込んでいます。歴史的にみても、その昔は紀貫之「土佐日記」の冒頭の場所であり、湾内の島々や湾口の桂浜は、今日でも全国的に知られた景勝の地です。また、高知の交通の要であっただけでなく、人と豊かな生命に満ちた自然がそこにありました。

それが高度経済成長期といわれる頃から、湾は悪臭を放つ赤茶けた海水の“死の海”と化しました。この惨状を憂う地元自然保護活動家・山崎圭次の「高知生コン事件」をきっかけに、地域住民や行政も立ち上がり、浦戸湾が再び生氣を取り戻しつつあります。「よみがえった浦戸湾」として、マスコミなどでも取り上げられるまでになっています。

この展示会は、近年、様々な環境問題への対応のかたわら、自然環境、歴史風土を活かした観光及び、産業の振興が課題として挙げられています。今回、高知のシンボル湾とも言える浦戸湾にスポットライトを当て、浦戸湾の学術経験者の協力のもと、地元博物館である桂浜水族館の80周年記念行事の一環として、蓄積した知見を活かして企画した展示会です。この展示会が、浦戸湾の価値の認識を深め、活性化に向けてのあるべき姿の模索・構築への一助となればと思います。

展示内容

1 「浦戸湾」4つのブース(桂浜水族館2階 展示室)

① 浦戸湾の歴史を映す風景

- ・海上交通の変遷
- ・浦戸湾の名所、旧跡の紹介
- ・民話の紹介など

② 浦戸湾の風物・漁業……湾内漁業の今と昔

- ・アサリ、エガニ、ツガニ、ニロギなどの関連写真や絵葉書など
- ・投網など土佐伝統漁具(湾内漁具を中心に)など
- ・湾内で漁師たちのコーナー

③ 浦戸湾のシンボル魚「アカメ」

- ……生かそう！この貴重な生態系！
- ・かつては、幻の魚と言われたアカメの現状は？
- ・知られざるアカメの生態についてなど

④ 死の淵からよみがえった浦戸湾

- ……「ゆたかさとは…自然を愛すること(山崎圭次)」
- ・生コン事件と、それを契機とした浦戸湾の環境変化を解説

2 特別水槽「浦戸湾のお魚コーナー」 3 特設「妖怪えんこう屋敷」

関連イベント

対談「かっぱ、しばてん、えんこう」

- ・日時 2011年10月16日(日) 15:30~17:00 桂浜水族館
- ・対談 宮脇 修(海洋堂館長)・丸林 友文(桂浜水族館学芸主任)

対談「浦戸湾の現状と未来」(山崎圭次の「生コン事件」の今日的意義を考える)

- ・日時 2011年10月30日(日) 13:30~15:00 桂浜水族館
- ・話し手 岡崎 洋一郎(浦戸湾の自然を未来に残す会 会長)・田中 正晴(浦戸湾を守る会 事務局長)

対談「水辺の活性化と浦戸湾の未来」

- ・日時 2011年11月6日(日) 13:30~15:00 桂浜水族館
- ・話し手 吉澤 文治郎(㈱ひまわり乳業 代表取締役社長)・永國 雅彦(桂浜水族館 館長)

鼎談「浦戸湾の不思議なはなし」

- ・日時 2011年11月12日(土) 15:00~17:00 桂浜水族館
- ・鼎談 永原 順子(高知工業高等専門学校 準教授(妖怪学))
細川 光洋(高知工業高等専門学校 準教授(寺田寅彦研究))・永國 淳哉(桂浜水族館 副館長(司会))